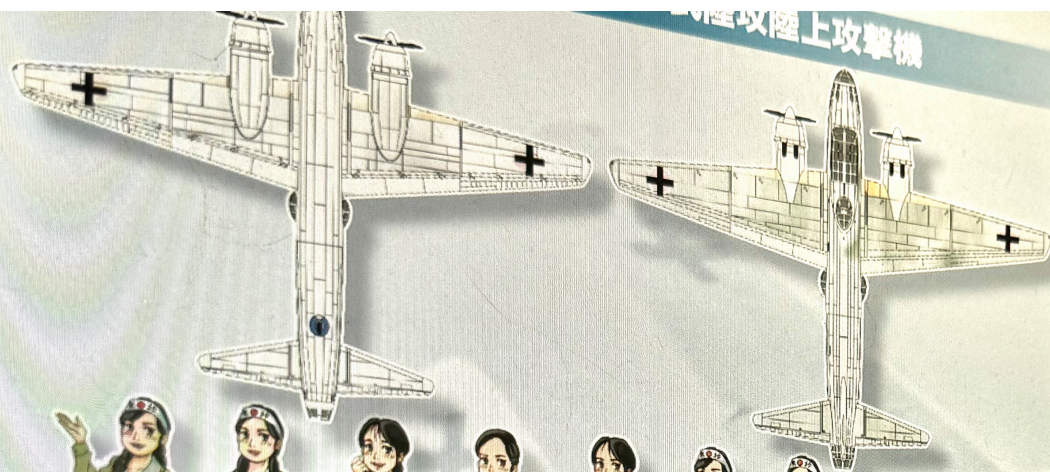




2番機を塗装した 女子挺身隊

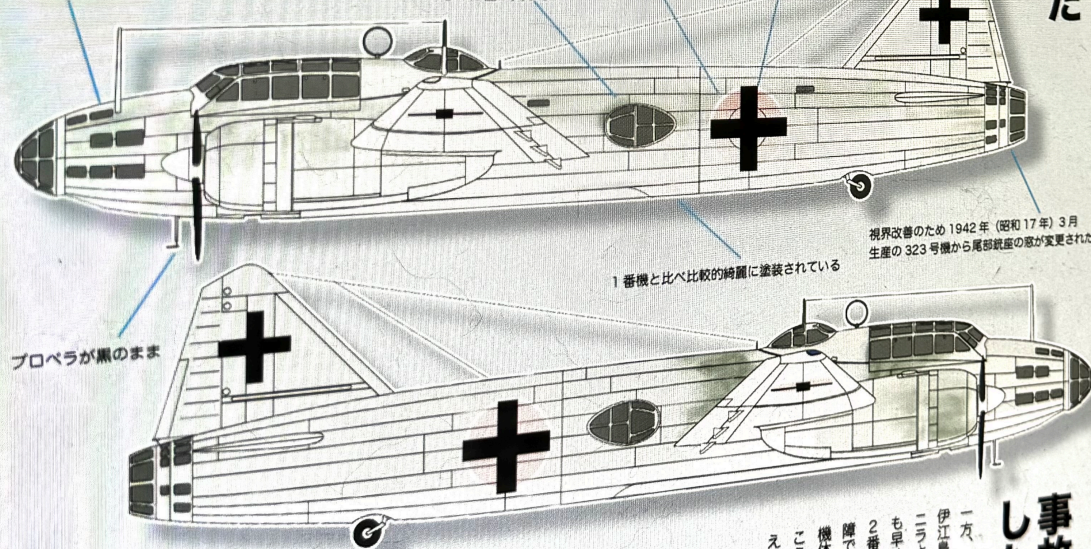
緑十字機2番機を塗装したのは第二海軍航空廠で勤務奉仕する女子挺身隊だった。彼女たちに塗装された白い機体が平和の使者となったのだ。

1番機よりも窓が1列多い

1番機と窓枠形状と窓の位置が異なる

昇降扉が円形

1番機と比べ全ての十字が太い



視界改善のため1942年(昭和17年)3月生産の323号機から尾部舷窓の窓が変更された

1番機と比べ比較的確に塗装されている

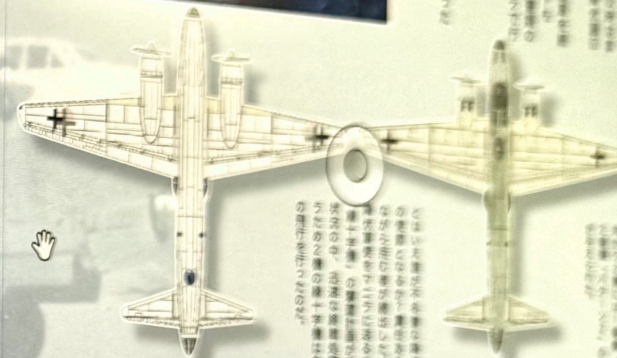
プロペラが黒のまま

「緑十字」
緑十字機
たのか？
8月16日連合国最高
号には降伏軍使の搭乗
次の塗装を施すよう
「飛行機全体は白色
胴体両側並びに各
ヤードより容易に認
りんの十字」とす
「しかし残り1、2番
もほぼ黒と見て
われているぞ。

事故を起こした2番機
一方、2番機も不幸に見舞われ
伊江島2日目となる8月20日
二つより帰還した軍使を乗せ
も早く東京戻るため滑走路に向
2番機だったが、移動中ブレー
障で制動が効かずトラクターと
機体の一部を損傷してしまう。
こうして2番機は翌21日修
え木更津へ帰還した。

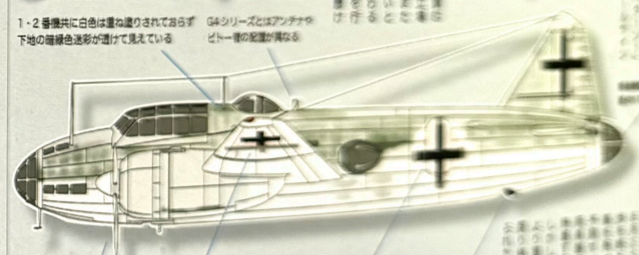


緑十字機とその飛行
この機は左を飛越した伊江島を離れ、
15日、伊江島に上陸した。伊江島に上陸した
機が「緑十字機」である。



1、2番機共に白色は重ね塗りされておらず
下地の暗緑色透けて見えている

これは1番機と2番機を比較すると
1番機はプロペラが黒のまま
2番機はプロペラが白く塗られている

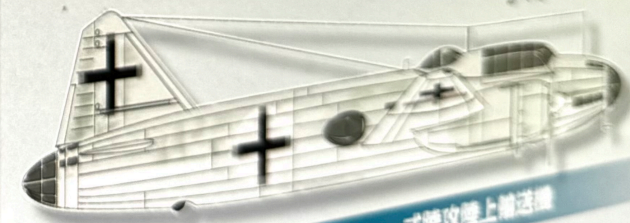


1番機はプロペラの
周囲とも白く塗られている

1番機はなぜか一度描いた十字
を消して描き直している

1番機は旧式の一式陸上攻撃機
2番機は新式の一式陸上攻撃機
2番機は新式の一式陸上攻撃機

1番機不降着



1番機 (パターン1) G6-M1 一式陸上攻撃機



滑走路を通過

と出た。
式陸攻（陸輸送も）は着陸姿勢では
副操縦員が上体を外に出して主操縦員に手信



陸軍機で飛来した米軍機 (左) 2機 (右) 1機